

令和6年度 山梨県立白根高等学校

第1回 学校運営協議会

期日：令和6年4月25日（木） 白朋館ホール・校長室

12:50 受付（事務室）

13:05～13:50 授業視察（白朋館）

14:05～15:05 学校運営協議会（白朋館）

次 第

進行:小宮山 隆(教頭)

記録:教務係 (記録係)

- I 山梨県立白根高等学校学校運営協議会 委員委嘱
- II 第1回学校運営協議会
 - 1 開会のことば
 - 2 校長あいさつ
 - 3 委員自己紹介
 - 4 役員選出(会長・副会長、議長の承認)
 - <議事>
 - ① 学校運営協議会 規約の確認
 - ② 本校の現状と課題について(学校側説明)
 - ③ 令和5年度学校評価について(学校側説明)
 - ④ 令和6年度学校運営方針・学校指導重点目標について
 - ⑤ 南アルプス市との包括連携協定について
 - ⑥ 意見交換・懇談
 - 5 諸連絡
 - 6 閉会のことば

▼今後の予定

- | | | | |
|-------|------|-----------|-----------|
| 学園祭視察 | 令和6年 | 6月19日（水） | 桃源文化ホール |
| 第2回 | 令和6年 | 11月28日（木） | 本校 白朋館ホール |
| 第3回 | 令和7年 | 2月13日（木） | 本校 白朋館ホール |

《 目 次 》

1	令和6年度 学校運営協議会委員名簿・会議日程	P. 1
2	山梨県立学校における学校運営協議会の運営等に関する要綱	P. 2
3	山梨県立学校における学校采井協議会の設置等に関する規則	P. 6
4	山梨県立白根高等学校 学校運営協議会の運営等に関する要綱	P. 10
5	〈教育活動報告〉 各校内グループによる分析	P. 14
6	スクール・ミッション、スクール・ポリシー	P. 19
7	学校指導重点目標	P. 20
8	学校運営・教育活動実践計画	P. 21
9	南アルプス市との包括連携協定	P. 26
10	山梨県立学校における学校評価システム実施要項	P. 28

《 ※別紙資料 》

令和5年度山梨県立白根高等学校評価報告書

令和6年度山梨県立白根高等学校評価実施計画書（案）

令和6年度 山梨県立白根高等学校 学校運営協議会委員

役 職 等	氏 名(敬称略)	住 所
白根高校の所在する地域の住民	手塚 正彦(てつか まさひこ)	
白根高校の所在する地域の住民	藤田 豊(ふじた ゆたか)	
白根高校に在籍する生徒の保護者(副会長)	森田 公(もりた こう)	
白根高校の運営に資する活動を行う者(会長)	川野 健一郎(かわの けんいちろう)	
白根高校の運営に資する活動を行う者	秋山 千穂(あきやま ちほ)	
学識経験者	飯野 芳重(いひの よししげ)	
関係行政機関の職員(中北教育事務所注幹)	内藤 賢(ないとう まさる)	
白根高校の所在する地域の産業界等の代表者	北村 公一(きたむら まさかず)	
教育委員会が適当と認める者	桂原 慎治(かつらはら しんじ)	
校長	校長 伊藤 裕之(いとう ひろゆき)	
白根高校の教職員	教頭 小宮山 隆(こみやま たかし)	
白根高校の教職員	事務長 土屋 久明(つちや ひさあき)	

令和6年度 会議日程

第1回	令和6年 4月25日(木)	本校 白朋館ホール
(学園祭視察)	令和6年 6月19日(水)	桃源文化ホール
第2回	令和6年11月28日(木)	本校 白朋館ホール
第3回	令和7年 2月13日(木)	本校 白朋館ホール

第1回 学校運営協議会 議事録

日時：令和6年4月25日（木）13：50～16：30 本校白朋館ホール

- 1 開会のことば（教頭）
- 2 校長あいさつ
- 3 委員自己紹介
- 4 役員選出

会長：川野様 副会長：森田様

会長：最初の1・2年はコロナ禍であまり活動できなかった。新しい委員さんを迎え、またあらたに活動を進めていきたい。

校長より、スライドで学校の活動紹介

<議事> 議長は川野様

- ①学校運営協議会 規約の確認（資料P2～P13参照）
- ②本校の現状と課題について（学校側説明 資料P14～参照）

1 学習支援グループ

1 本年度入学生の出身中学校について

旧学区外から通学している生徒が多い。また、前期入試については36名の受験者となり、減少傾向にある。

2 高校入試の成績状況

近隣の普通科高校と比較すると厳しい現状である。

2 生徒支援グループ

- 1 生徒会関連行事
- 2 部活動実績 ウェイト部の活躍
- 3 支援を要する生徒とその対応

昨年度のスクールカウンセラーの利用が68回、増加傾向であり支援体制の充実が必要。

4 当面の課題

ここ数年、部活動加入生徒が減少傾向にある。本年度については、改善傾向がみられる。秋にまた報告をさせていただく。

部活動の活性化に取り組んでいきたいところではあるが、小規模校としては顧問の配置に苦慮している。

3 進路支援グループ

- 1 進路基本方針
- 2 卒業生進路概況

国公立大学合格者7名（過年度生1名含む）。昨年度につづき健闘した。

4 学校管理グループ

- 1 就学支援金、就学給付金受給者について
- 2 学校施設・設備の改善について
- 3 PTA 活動及び地域との連携

4 令和5年度 PTA 事業

老朽化が目立つ。継続的に県に要望を出していく。

5 生徒指導グループ

- ・交通事情、道路環境の影響も考えられるが、事故が多くなっている。

昨年度から、自転車のヘルメット着用を義務化している。

- ・遅刻者数は改善されている。このまま継続させていきたい。

6 情報管理グループ

資料の学校出身者数訂正あり

③令和5年度学校評価について（資料参照）

- ・昨年同様、委員の皆様には1年間かけて評価をお願いします。

④令和6年度学校運営方針・学校指導重点目標について（資料P19～参照）

⑤南アルプス市との包括連携協定について（資料P26～参照）

- ・昨年度は、山梨大学菊地准教授に来ていただき、学習に取り組んできた。フィールドデイやインターンシップでも、南アルプス市の協力を得て進めさせていただいている。
- ・1年生の総合的な探究の時間で主に取り組んでいく。
- ・本年度は南アルプス市魅力発見ハンドブックの作成予定。
- ・2月の職業人講話でも、職員派遣や企業への依頼などで連携させていただいている。
- ・5月21日、本校体育館で本年度第1回が行われる。菊池先生の講演なので委員の皆さんもご来校いただけたら有難い。
- ・エコパークガイドにスイーツショップの紹介などで本校3年生が何年も参加させていただいている。

A 委員 : この協定は観光推進課が窓口になっている。観光推進課長も白根高校の1期生。山梨大学と委託契約を結び、高校生の学びから市も政策のヒントをいただいている（エコパ伊那ヶ湖の再整備、活用・保全に向けて など）。

⑥意見交換・懇談

B委員 : 全県一学区となってから久しいが、地域に根差した活動、地域で活躍できる人材の育成、進路実現に向けた目標設定、取り組みになっていると感じる。

また、自治会の役員もやっているが、災害時の避難場所が白根高校になっている。数百人の住民避難が現実的にできるのか、シミュレーションが必要ではないか。現実味のある課題として、ぜひ考えていただきたい。

校長 : 防災計画の見直しは毎年している。対応は考えている。

C委員 : ぜひ地域と意見交換させていただきたい。

教頭 : 避難所の想定等は近年行っているが、教員が災害時に学校に来られるか、県立学校と市町村との連携の難しさなどが課題。

B委員 : 市の防災会議が開かれるが、白根高校は呼ばれていない。また、教員に市から任されてもなかなか難しい。災害時には、学校の最優先事項は、学校、教育活動の早期再開。中学校に勤務していた頃、実際に避難所として対応した経験がある。

D委員 : 今年から地区の防災リーダーになっているが、地区の防災マニュアルを作っていない地域がほとんどの様子。まずは地域のマニュアル作りも必要。

B委員 : 地域の防災対策も徐々に進んでいると感じる。

D委員 : パイプ役になれると思うので、何かあればご相談ください。

5 諸連絡 今後の予定

校長 : 学校HPに活動の様子をアップしている。ぜひご覧いただきたい。

6 閉会のことば（事務長）